



こんにちは

村田 けい子 です

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。

移動事務所 090-9144-8534

発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868

2022.7.22
夏季号
№361

【6月議会報告】



4年前には「リニアよりクーラー」を訴え抜き、すべての小中高校にクーラー設置を実現した金井忠一県知事予定候補。今度は給食費無償化など、一層の家計応援の県政を目指しています。金井忠一さんの公約は私の願いです。

「学校給食費無償化」 「大学入学金廃止」 「返さなくてもよい奨学金の充実」

「若者が希望の持てるあったか県政をつくる！」
金井忠一



—金井忠一さん必勝 総決起集会in松本—

日本共産党 1922.7.15創立
100歳の誕生日迎える

参議院選挙ではお世話になりました。市民と野党の共同候補として杉尾ひでやさんの当選にわずかでも貢献できたことを嬉しく思います。皆さんに感謝申し上げます。比例では残念ながら、21年衆議院選に継いで、参議院選挙でも現職議席を落としてしまい、地力不足を痛感しています。100周年を前進して迎えたかったのに、残念です。世直しボランティア大募集です。

日本共産党は戦前の暗黒時代から、命がけて「侵略戦争反対・女性にも参政権を・8時間労働制」など戦争反対・国民が主人公・生活向上を掲げ続けてきた政党です。だから時の政府ににらまれ、弾圧され「悪者」扱いされてきました。

でもそうした運動が戦後制定された憲法に「恒久平和・主権在民・国民の基本的な人権の保障」として実りました。

今も、憲法違反の政党助成金（国民一人あたり250円、年間で約320億円）を受け取らず、自前で政党活動を行っていることは私の誇りです。多くの方々に募金や新聞をご購読いただき、事業収入を得て運営しています。支えていただけて本当に感謝です。

**政党助成金は廃止して
国民の暮らしに回せ！**

助成金320億円は国会議員一人あたり4500万円にもなり、買収に使われたり、使い切れずため込まれたりしています。文書交通費と同様、政党助成金にもメスを入れ、廃止する時です。日本共産党以外の政党に渡っています。27年間の総額は8,539億円。（'21.1.27まで）国民の暮らし・教育・福祉のために使うべきです。日本共産党は政党助成金廃止法案を提出しました。（'22年1月）



瑞穂の国

今季のパチリ！

このところ、「梅雨の戻り」でしょうか、よく雨が降ります。一雨来るとぞっくりと雑草がはびこり、草刈り機のエンジン音が響きます。

カエルの声と共に、安らぎと満足感を与えてくれるのが田園風景。たっぷりと水を吸って、稲が元気です。すくすく青々と育って豊かな実りを予感させます。これで米価が挙げれば言うことなしです。

！ 安倍元首相の「国葬」には反対 ！

よって立つ法的根拠はありません。森友問題で国有地8億円の値引き、必要性が疑問視された加計学園獣医学部新設、安倍のマスクの無駄遣い、桜を見る会の私物化…。税金の大盤振る舞いで目に余る無駄使い。これ以上の税金支出はご勘弁を願います。

【6月議会・全員協議会での報告から】

*新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金を使って

7.21臨時議会に補正予算

A, 原・物価高騰対策事業者支援金 4,300万円

9月から12月予定 申請で

①農業者向け(470経営体見込み)

農業収入に応じて支援金額が変わります。



1万～10万円まで

②一般事業者 一億円以上 15万円

一億円以下 10万円

B, 全町民7,100人に一人あたり3,000円分商品券支給。

商工会に事業を依頼 2,485万円

10月～来年1月まで、商工会に依頼



「更なる少人数学級推進と教育予算の増額」「義務教育費国庫負担制度の堅持」を求める陳情採択され、意見書上る。全会一致

コロナまん延により、距離を十分とる必要から40年ぶりに「5年間で35人学級を進める」こととなりましたが、中学校は40人のまま。陳情は豊かな学びの保証や教師の働き方改善のためにも35人では不十分であり、さらなる少人数を進めること、教師の定数を増やすためにも、国の責任を以前の2分の1に戻すことを求めています。(現在3分の1)

日本の公的負担率は先進国では最低レベル。国民負担の高さはトップクラスです。子どもは社会の宝。国がしっかりと支えて、子育て家庭の負担を減らすことが大切です。

「相当な軍事費増額」より「相当な教育予算の確保」こそ、国民の願いです。

【一般質問より】

1, 教育にかかる保護者負担の引き下げを!



①学校入学時にかかる費用(令和2年)

小学校 29,910円

中学校 男子 71,780円(制服関係だけでも43,500円)

女子 78,460円(同上 50,180円)

実際はこれより多くかかり小学校で5万円、中学校で10万円の入学費用がかかるとのこと。

制服のリサイクル制度を、購入補助を作るべき。

②毎月かかる費用 10か月間で徴収、年度末精算

小学校 8,700円(給食費5,700円+学年費1,500円

+修学旅行積立1,500円) 年額87,000円

中学校 14,400円(給食費6,400円+学年費3,000円

+旅行積立5,000円) 年額144,000



③学校給食費は無償に・・・コロナ禍・物価高騰を受けて(国も交付金を物価高騰に充てても良いと通達。)

南佐久郡/小海町・川上村・南北相木村・佐久穂町・南牧村
小県郡/長和町・青木村 北佐久郡/御代田町・軽井沢町

*「観光地の再生・高付加価値化事業」を使って観光地を整備

女神湖周辺

ホテルグランビューなどの建物撤去、女神湖センターの一部をシェアオフィス(テレワークができる空間)に改修する、宿泊業者の改修などへの支援事業として、臨時議会(7.21)に提案。

観光庁の「観光地の再生・高付加価値化事業」を活用するとの事ですが、交付決定されれば8月上旬には工事着手をしたいとの事。

*樽(たる)ヶ沢温泉の活用について



樽ヶ沢温泉の権利を持つ立科町(平成20年)が、町内ホテルに源泉採掘を許可し、ホテルがそのお湯を引き込むために、県道の歩道にパイプを埋め込み利用することに。

源泉がある場所は町有地ですが、県道を利用することから、6月中に県と調整済み。町有地を利用することから議会全員協議会に報告がされました。

源泉は70ℓ/分、ホテルが利用するお湯は50ℓ。残りの20ℓは、他の利用者に分湯が可能とのこと。くみ上げ設備や工事費はすべてホテルが持ち、ホテルの改修に合わせて工事したいとの事。

町有地に埋め込まれる距離は21.2m。温泉は、源泉くみ上げポンプ場から県有地を通り、県道の下を横切り、歩道に埋め込まれたNTTの空間を利用して、1,471mの距離をパイプで運ぶことに。NTTも了解済みとのこと。

*これまで利用されていなかった樽ヶ沢温泉。くみ上げポンプ場の建設も維持費もすべてホテル持ちで、年間の利用料が町に入るとするのは、良いことと考えていいのでしょうか。

ご意見をお聞かせください。



2, 女性登用を進める呼び水として補助制度を作っては

立科町でも高齢化、人口減少の中で自治会役員の成り手が不足するという問題が起こっています。また女性の力を活かすという意味でも女性の登用が望まれます。

兵庫県小野市では、女性を複数登用した自治会には10万円、3役を担った場合にはさらに10万円補助する制度を作り、効果を上げました。当町でも取り入れては、と提案。



兵庫県小野市では平成25年(2013年)から3年間限定で『自治会役員女性参画推進補助金制度』を作り効果を上げて、今では自治会役員5割以上が女性で、議員も43%が女性。効果が上がったので3年で廃止。

3, 動物にやさしい町づくり

①猫の避妊・去勢に補助制度を

②ドッグランを里にも、道の駅や権現山にも設置を。

